

平成 28 年度 第 2 回恵那市スポーツ推進審議会 議事録

1. 開催日時

平成 29 年 3 月 24 日（金） 午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分

2. 開催場所

恵那市役所西庁舎 3 階災害対策室 B・C

3. 出席委員 6 名

4. 欠席委員 5 名

5. 議事次第

- (1) 開会
- (2) 恵那市スポーツ推進審議会会長あいさつ
- (3) 健幸まちづくり課長あいさつ
- (4) 会議の成立
- (5) 議事
 1. 恵那市スポーツ推進行動計画の進捗状況について・・・資料 1
- (6) その他
- (7) 閉会

6. 議事要旨

(1) 開会	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今から、平成 28 年度第 2 回恵那市スポーツ推進審議会を開催させていただきます。はじめに、恵那市スポーツ推進審議会の会長からご挨拶をいただきたいと思えます。
(2) 会長あいさつ	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は、平成 28 年度第 2 回恵那市スポーツ推進審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。 ・本日の審議会が滞りなく終了することを願ひましてあいさつとさせていただきます。
(3) 健幸まちづくり課長あいさつ	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本来であれば、まちづくり推進部長があいさつするところですが、他の会議と重なっているため、健幸まちづくり課長がごあいさつさせていただきます。 ・第 1 回目の審議会は、10 月 26 日に開催しスポーツ推進行動計画の中間報告をさせていただきます中で、委員の皆様から多くのご意見をいただきました。また、今年度は運動、スポーツ団体の皆様に集まっていただき、現状や課題を出し合いながら今後の取り組みに向けて意見交換を行うためワークショップを 3 回開催し、いただいた意見と取りまとめて参加者の皆さんへ情報を提供させていただきました。 ・中部大学と委託契約し、「恵那市こども園での運動プログラム」を作成しました。次年度からは、各園で運動プログラムの実践を進めていきます。 ・スポーツ合宿誘致プロジェクトの一環として、笠置峡をボート・カヌー競技のキャンプ地として誘致活動を積極的に進めております。これに伴い、キャンプ誘致用にロゴマークを全国から公募し、審査結果を新聞社等で発表させていただきました。スポーツツーリズムの視点から、ウォータースポーツを通じて交流人口の増加及び地域の活性化を目指しております。4 月には実業団のボート部が笠置峡でキャンプを実施していただくことにもなっております。交流事業として、地元北中学校の生徒とトップレベル選手との交流会も予定しております。 <p style="text-align: center;">平成 28 年度、恵那市はこのような取り組みを中心として進めております。</p>
(4) 会議の成立	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の審議会は、恵那市スポーツ推進審議会条例、第 6 条・第 2 項の規定により委員の半数以上がご出席されておりますので、本審議会が成立することをご報告させていただきます。 <p style="text-align: center;">これ以降の進行につきましては、恵那市スポーツ推進審議会条例、第 6 条第 1 項の規定より、会議は会長が議長となるとありますので、会長に進行をお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。</p>
(7) 議事	
恵那市スポーツ推進行動計画の進捗状況について	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは「議事 1」恵那市スポーツ推進行動計画の進捗状況について、事務局説明をお願いします。
事務局	<p>【基本方針：健康づくり】</p> <p>○「恵那市スポーツ推進行動計画」及び「健幸のまちづくり行動計画」の 2 つの行動計画の中で、「健康づくり」は共通の行動計画として位置付けられ、運動、スポーツを通じて市民が健康づくりに取り組むことができるきっかけづくりを中心に展開しています。</p>

事務局	<p>○「健幸ウォーキング」プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月5日の健幸フェスタでウォーキング大会を実施しました。(38名参加) ・11月に恵那峡周辺を会場としたウォーキング大会を企画しました。(雨天中止) <p>◆単年評価：ほぼ計画通り</p> <p>◆全体計画への見通し：やや遅れ気味</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が購入したウォーキングポールや歩数計の貸し出し数が減少しているため、積極的に周知を図り活用いただくこと。 ・スポーツ推進委員等と連携を図りながら、市民が健康づくりを自主的に行うためのきっかけづくりを進めていくこと。 <p>○「みんなで始めよう健康体操」プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エーナ健幸体操は、ケーブルテレビ、インターネットで映像を配信し、市民へ積極的に啓発しています。 ・こども園等でもエーナ健幸体操に取り組んでいただいています。 ・夏期巡回ラジオ体操が8月4日(金)に恵那市で開催されることになりました。 <p>◆単年評価：ほぼ計画通り</p> <p>◆全体計画への見通し：予定通り達成見込み</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エーナ健幸体操のPRが足りず、指導者も不足していること。 ・夏期巡回ラジオ体操に多くの市民が参加していただけるよう啓発すること。 <p>○「エーナ健幸ポイント」プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの健康づくりを目的として様々な取り組みを行うことで健幸ポイントを取得し、合計ポイントに達したら市へ応募する制度を作りました。さらに応募者の中から抽選で希望する商品が当たるという制度を、平成28年10月から開始しました。当初は平成28年度に制度を検討し、平成29年度から実施予定でしたが、少しでも早く制度を運用できるよう前倒しで開始しました。 <p>◆単年評価：ほぼ計画どおり</p> <p>◆全体計画への見通し：予定どおり達成見込み</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健幸ポイントに取り組む世代は高齢者が非常に多かった。就労世代の参加が少ないため、取り組んでみようと思う制度を検討すること。 <p>○「その他の健康施策」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健幸ステーションは、地域コミュニティセンターを中心として検討を進める。 ・高齢者の体力づくりについては、現在の活動に加え指導者を派遣し内容の見直し等を進めていきたい。 ・障がいの有無に関わらず、全市民が参加できる運動イベントを検討していく。 <p>◆単年評価：計画をやや下回った</p> <p>◆全体計画への見通し：予定通り達成見込み</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての市民に対して運動機会を積極的に設けて行きたいが、指導者が不足していること。 ・平成29年度については、障がい者団体、恵那市体育連盟、恵那市が連携し、ニーズにあった運動機会を検討するための会議を開催していくこと。
-----	---

事務局	<p>【基本方針：子どもの健全育成】</p> <p>○「運動習慣始めの一步」プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期における健全育成と、壮年期、老年期における運動習慣の獲得に向け、幼児期から身体を動かす遊びや運動、スポーツに親しむことができる環境を整えていきます。 ・市公立こども園全園で取り組んでいくため、運動プログラムを作成しました。 ・運動プログラム作成のため、中部大学へ業務委託し3歳児以上の全園児を対象として体力測定、保護者へのアンケート調査を実施した。ここで得られた情報を分析し、恵那市こども園運動プログラムに反映しています。 <p>◆単年評価：計画以上に実施できた</p> <p>◆全体計画への見通し：予定通り達成見込み</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各園の子どもたちが決められたプログラムに取り組むのではなく、普段の園活動の中で運動プログラムを自然と展開できる環境を整えること。 ・保育教諭や保護者が日常的に運動プログラムを展開していくための学ぶ機会をたくさん設けること。
中部大学	<p>○今回作成した「恵那市こども園運動プログラム」は、複雑な動作ではなく手軽に取り組むことができるものとししました。各園の先生方を対象として実技研修会を開催しましたが、運動を含めた指導はなかなかうまく行かない場面も見受けられました。年代等でプログラムへの取り組み方は変わっていくため、各園のスタイルを作っていただきたいと考えています。また、保護者へのアンケートを実施し、その中で自宅から歩いていける公園等があるかとの問いに対して、約半数の市民がないと回答していました。まずは家の中でも取り組めることから始めてもらえればと考えています。子どもたちの体力測定結果も保護者へフィードバックし、自分の子どもがどのような状況にあるのかを確認しながら日常生活の中で意識して接することでより効果的な運動経験をすることができると考えています。平成29年度は、各園を回りながらその園や年代に合わせた指導方法を検討していきたいと思ひます。</p>
事務局	<p>○「その他の子どもの健全育成」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象とした運動、スポーツ教室の充実、運動、スポーツに取り組むためのきっかけづくりとして、健幸フェスタのスポーツ部門としてニュースポーツ体験コーナーをスポーツ推進委員中心として設置しました。また、総合型地域スポーツクラブとしても体を使った遊びとして、ツリークライミングコーナーを設置し、多くの子どもたちが体験していました。これは、運動が得意ではない子どもたちでも楽しく体を使った運動が体験できる場として、多くの子どもたちが参加していました。 ・恵那市体育連盟を中心として、弓道、ソフトテニス、水泳等のスポーツ教室を開催しています。 <p>◆単年評価：ほぼ計画通り</p> <p>◆全体計画への見通し：予定通り達成見込み</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段あまり運動をしない子どもたちが少しでも気軽に参加したいと思うことができる環境を検討する必要があること。

事務局	<p>【基本方針：コミュニティづくり】</p> <p>○「1地域1運動・スポーツ」プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域で継続的な運動、スポーツ活動を推進し、幅広い年代が運動、スポーツを通じてコミュニティを形成し活性化していくものです。 ・各地域の運動、スポーツ団体を集め、現状や課題を出し合いながら今後の取り組み方などを検討するために、年3回ワークショップを開催しました。出された意見は事務局で取りまとめ、参加された皆さんに資料として提供しました。 ・モデル地域として長島町を選定し、その取り組みを参考とさせていただくため他地域の運動・スポーツ関係者に資料を提供しました。 ・今後もスポーツ推進委員や地区体育協会等を中心に様々な情報を提供しながら、1地域1運動を進めていくための情報発信を行い、住民が継続的に運動やスポーツ活動に取り組むことができる環境を検討していただくこととしています。 <p>◆単年評価：ほぼ予定どおり</p> <p>◆全体計画への見通し：予定通り達成見込み</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域で継続的な運動、スポーツ活動を推進できる人材が不足していること ・地域と連携が上手くいっていないこと <p>○「その他のコミュニティづくり施策」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に5つの総合型地域スポーツクラブが設置されています。 ・各クラブで会員を募集し、様々な活動を行っています。 ・各クラブが連携してスケート教室を開催しています。 ・壮健クラブと連携し、昔遊びの体験を予定していたが実施できませんでした。 <p>◆単年評価：計画をやや下回った</p> <p>◆全体計画への見通し：やや遅れ気味</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全ての総合型地域スポーツクラブは会員の確保に苦慮していること。 ・市からの補助金やスポーツ振興くじt o t oの助成も終了したため、活動資金の確保が非常に厳しくなっていること。 <p>【基本方針：観光交流】</p> <p>○「スポーツ合宿誘致」プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市にあるスポーツ施設や宿泊施設を有効に活用していただき、交流人口の増加、地域の活性化を目的としてスポーツツーリズムの観点から合宿誘致を積極的に進めていきます。 ・笠置峡をボート、カヌー競技のオリンピック、パラリンピック事前キャンプ地として各種チームを誘致することを目的としてパンフレットを作成しました。また、事前キャンプ地誘致ロゴマークを全国から募集しました。今回作成したパンフレットは、国内外を問わず競技団体等へ積極的にPRし合宿の誘致活動を進めていきます。 ・まきがね公園やその他のスポーツ施設を含め、社会人や学生の夏期合宿を積極的に受け入れ、施設を有効に活用いただくとともに、地域の活性化を目的として情報発信を強化していきます。 ・恵那市体育連盟のウェブサイトを活用し、全国の様々な運動、スポーツ団体が求めている情報を的確に提供できるよう情報発信を強化していきます。 <p>◆単年評価：計画をやや下回った</p>
-----	--

事務局	<p>◆全体計画への見通し：やや遅れ気味</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内にあるスポーツ施設の規模は、公式基準を満たしていないものが多く、練習レベルでの利用が中心となること。 ・市内のスポーツ施設は老朽化が進んでおり、全域的な施設改修を行うことが必要となってきたこと。 ・スポーツ合宿時にスポーツ施設と宿泊施設情報がリンクしていないこと。 <p>○「鉄道とわがまちの魅力発見」プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日は明知鉄道を利用したウォーキングイベントは開催されていますが、土日などの休日に開催されていないため、家族や友人、個人で歩きたいと考えている市民を中心に呼びかけ、明知鉄道、恵那市体育連盟、恵那市観光協会、恵那市が連携して企画運営していきます。 <p>◆単年評価：計画どおりできなかった</p> <p>◆全体計画への見通し：やや遅れ気味</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングの指導者、コース案内等の人材が不足していること。 ・地域の協力が必要となること。 <p>○「その他の観光交流施策」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市の2大マラソン大会は今後も継続して実施していきます。 <p>◆単年評価：ほぼ計画どおり</p> <p>◆全体計画への見通し：予定通り達成見込み</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本大正村クロスカントリーについては、実行委員会のメンバーが高齢化していること、また財源を確保することが年々厳しくなっていること。 ・恵那峡ハーフマラソンについては、翌週のぎふ清流マラソンが移動してきたため参加者の減少が懸念されること。 ・恵那峡ハーフマラソンとして、他の大会との違いを出しながら参加者を募集していくことが必要となってきたこと。
事務局	<p>【基本方針：競技力向上】</p> <p>○「スポーツ指導者・ボランティアバンク」プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技力を向上させるための指導者確保、それを支えるスポーツボランティアを広く募集し、競技力向上のための環境整備を目指します。 ・恵那市体育連盟において、平成28年度新たにスポーツ指導者、ボランティアバンクに登録いただける方々を再募集し、最新の情報を整理しました。指導者及びボランティアの派遣希望があれば、恵那市体育連盟を通じて指導者等を派遣できる体制を整えています。 ・総合型地域スポーツクラブにおいては、競技スポーツクラブを多数抱えています。各クラブにおいて競技スポーツ指導者やボランティアが不足する場合に対応することができます。 <p>◆単年評価：計画をやや下回った</p> <p>◆全体計画への見通し：予定通り達成見込み</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い年代の指導者が不足していること。 ・自分の居住地外から指導者を派遣してもらうことに抵抗を感じてしまうこと。

事務局	<p>○「競技スポーツ指導者育成」プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツ指導者のレベルを上げることで、恵那市全体の競技力向上に繋がっていきます。 ・指導者資格の取得に係る費用支援を行っています。 ◆単年評価：計画をやや下回った ◆全体計画への見通し：予定通り達成見込み ◇問題点等 <ul style="list-style-type: none"> ・指導者本人がより高い指導力をあまり求めていないこと。 ・指導者として派遣された場合、基本的に無報酬となっていること。 ・支援制度が有効に使われていないこと。 <p>○「その他の競技力向上施策」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツなどのハイレベルなスポーツ観戦機会、トップアスリートとの交流会、講演会を設けていきます。 ・国体選手により陸上教室を開催しました。 ・中京学院大学野球部員による野球教室を開催しました。 ◆単年評価：ほぼ計画通り ◆全体計画への見通し：予定通り達成見込み ◇問題点等 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイレベルな指導者を招いて各種スポーツ教室等を開催したいが、財政的な問題、競技の選択等が難しく今後精査していく必要があること。 ・市内のスポーツ施設ではプロスポーツに対応できないこと。
事務局	<p>【スポーツ推進を担う人材・組織の役割】</p> <p>○スポーツ推進計画5つの基本方針を推進していくため、恵那市体育連盟を中心として、総合型地域スポーツクラブ、地域体育協会等、スポーツ推進委員、地域スポーツ推進委員などの役割を明確にすることで、市民のニーズに対応できる人材・組織の体制を整えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ステージ1」から「ステージ3」を設定し、平成28年度は「ステージ1」として恵那市体育連盟、総合型地域スポーツクラブ、地域体育協会（連盟）、スポーツ推進委員約50名が集まり、3回ワークショップを開催しました。 ・ワークショップで出された意見を取りまとめ、各地域で今後の参考としていただくよう資料を提供しました。 ◆単年評価：ほぼ計画通り ◆全体計画への見通し：予定通り達成見込み ◇問題点等 <ul style="list-style-type: none"> ・地域によって取り組み方が違うため、地域の中に入り込んでいくことが重要になること。 ・地域で活動している方々が意見交換できる場所を設ける必要があること。
事務局	<p>【スポーツ環境・施設の活用と整備方針】</p> <p>○身近な運動・スポーツ施設、総合運動・スポーツ施設、クリスタルパーク恵那スケート場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合運動、スポーツ施設として位置付けられているまきがね公園の大規模改修、公共施設の統廃合について検討を進めています。 ・クリスタルパーク恵那スケート場の夏期営業期間において、小さな子どもたちを対象として市民に無料開放し、子どもの遊び場として活用いただけるよう準備を進めています。

	<p>◆単年評価：ほぼ計画通り</p> <p>◆全体計画への見通し：やや遅れ気味</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まきがね公園体育館、テニスコート、野球場の改修を予定していますが、老朽化における調査を最優先で実施すること。 ・まきがね公園に芝生公園化、遊具の新設、園内路の再整備を行うため協議を重ねたが財政的に厳しい状況となったこと。 ・身近な運動、スポーツ施設は既存のコミュニティセンター等を活用していきたいが、該当施設が対応可能であるかどうか検討していく必要があること。 <p>○市内スポーツ施設・学校開放施設予約システムの構築について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再配置計画及び恵南地域の中学校統合問題の進捗状況に合わせて、施設予約システムを構築することとしました。 <p>◆単年評価：計画通りできなかった</p> <p>◆全体計画への見通し：やや遅れ気味</p> <p>◇問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再配置計画の進捗状況に左右されること。 ・スポーツ施設以外の窓口サービスと連携したシステムを構築する必要があること。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から今年度の進捗状況について説明がありました。 ご質問等はありませんでしょうか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園で実施した体力測定について今後も継続していくとのことですが、対象者が小学校へ上がった場合、その後はどのようにしていくのか。こども園のみで終了とするのか、小学校へあがっても継続してデータを集めていくのかどのように考えているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・就学した子どもたちは小学校で体力測定を実施しています。しかし、就学前の子どもたちを対象に体力測定を実施しているケースは全国的にも少ない状況です。幼児期の体づくりは、子どもたちが成長していく過程において非常に重要な時期であるため、継続的に取り組んでいきたいと考えています。今後は、こども園で蓄積したデータを小学校へ進んだ後も比較できるよう検討していきますが、学校との調整が必要となります。中部大学の先生方からのアドバイスをいただきながら、学校、教育委員会と調整を行いながら進めていきます。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校で実施されている体力測定は、その結果を次に活かすような体制にないのが現状です。ある地域では、その結果からどのような種目に向いているのかを分析する取り組みをしていることもありますが、ほとんどは測定するのみとなっています。恵那市では、3歳児以降のデータを蓄積する取り組みを始め、今後小学校へあがっても継続したデータ収集及び分析を行うことが重要であると考えます。ただし、様々な制約等もかかってくると思いますので、恵那市として継続していける方法を検討することも大切であると考えています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の測定データが確認でき、成長しているのが分かると本人のやる気にもつながるので、何等かの形でデータを継続して分析できる体制が作ればよいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他何かご意見はございますか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツでも、東濃大会から岐阜県大会、良い成績が出せればパラリンピックまでの道筋も出来上がっている。身体障がい者協会に加入していなくても希望があれば大会に参加できるのでより多くの方に参加していただきたいと

	<p>考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度は、恵那市を主会場として身体障がい者スポーツ大会が開催されます。恵那市のスポーツ施設についても、芝生化や障がい者用トイレの増設等障がい者が利用しやすい施設として整備進めていただきたいと思います。
会長	<p>ただいまの件について何かありますか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年開催された土岐市は、市を挙げて盛り上げていた。高齢者の方々も積極的に参加しているが、特に障がい者スポーツの裾野は広がっていないと感じています。福祉部門のみではなかなか広がっていかないため、スポーツ部門と連携しながら進めていただきたいと思います。 ・特別支援学校においてもスポーツ活動を行っており、卒業後もスポーツが続けられる環境を整えていただければありがたいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校についてご意見がありました。支援学校の施設を使用することなどは可能なのでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校施設を外部に開放する場合、学校側から岐阜県に申請する必要があります。 ・岐阜県民のスポーツ実施率は 40.4%、障がい者のスポーツ実施率は 18.2%と低く、スポーツに取り組むことができる環境が整っていないのが現状であると思われます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・当組織の中でも、身体障がい者の皆さんを対象としたスポーツ教室の開催について議題に出るが、指導方法について戸惑いがあるため、なかなか行動に移せないのが現状です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に対する理解がなかなか進んでいないことも理由の一つであると思われます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市などは大会参加への環境が整っているため参加しやすい。それ以外の地域は会場までの移動が大変であり、引率者等がないために参加できない状況も見受けられます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境面が改善されていかないと、なかなか進んでいかない状況もあるかと思われます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・体育連盟として施設改修に対する対応は何かしておられますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・体育連盟としては、恵那市に改修要望を提出しているが財政的な理由もありなかなか思うようにはいかないのが現状です。中部大学の研修センターにある施設を有効に活用させていただくことも考えていく必要があると考えています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他の委員は、スポーツ推進行動計画の進捗状況説明を聞いてどのような感覚をお持ちですか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・行動計画を策定されて以降、様々な取り組みに対する広報活動はどのようにされているのか。当方は市から依頼され介護予防事業を展開しているが、その中でエーナ健幸体操を必ず取り入れるなど事業者としてもっと協力することができたのではないかと感じています。また、地元の事業所に対して積極的に啓発活動を行い、従業員を取り込んだ活動を展開する必要もあると思われます。事業者は職場の健康づくりに対して積極的に取り組んでいく時代になってきており、健康経営という定義が出されてきています。健康づくりに対する経費を「費用」と考えるのではなく、「投資」として捉える。従業員の健康が生産性を上げるという考え方もあります。こうした風が吹いている中、相談先として行政や保険者への質問等も増加してきている。行政からのアプローチが重要であると考えます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・PR活動について行政としてはどのようなことを行ったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・健幸ポイントのPRについては、工業団地を中心として啓発活動を行いました。

	た。エーナ健幸体操についても、地域の行事に出向きPR活動も行いましたが、積極的な啓発活動はできませんでした。今後は計画的な啓発活動を進めていくことが重要であると考えています。現在、市内にある一部のこども園では取り組んでもらっています。
会長	・平成29年度は夏期巡回ラジオ体操が開催されるが、今後の計画はどのようなになっているのか。
事務局	・8月4日にまきがね公園多目的広場での開催が決定しています。本番の1ヶ月前にはかんぼ生命がポスターやチラシを作成し、これより前にこども園や各小学校、壮健クラブ等へ周知して積極的に参加いただくよう促していきます。平成29年度のエーナ健幸ポイントの対象としてエーナ健幸イベントマップの表紙でも啓発しています。当日はスポーツ推進委員の皆様にもご協力をいただくこととなっています。まきがね公園は長島地域となるので、何とか長島地域の子どもたちには極力参加してもらえよう依頼していきます。
会長	・夏期巡回ラジオ体操が恵那市にくるので、私たちもできる範囲で盛り上げて行きたいと考えています。
委員	・近年中学校の運動活動が衰退してきています。全国的にみてもまったく運動していない生徒は15.2%となっており、県内でも東濃地域の子どもたちは低い数値となっています。これらの要因が成人の運動実施率に影響していると考えています。大きな理由として考えられるのは、学校部活動が衰退しクラブ活動が中心となったため、運動する子としない子の二極化が進んでいるということです。普段運動に取り組まない子どもたちに対して、どのようなアプローチをしていくかが課題であると考えています。先程説明があった子どもの頃からの運動習慣づくりも大切であると思います。また、スポーツ少年団としてもアクティブチャイルドプログラムを今年10月に実施し、少年団に入る前の子どもたちを指導する皆さんを対象として研修会を開催し、子どもたちが運動・スポーツに取り組みやすい環境を整えています。
会長	・こども園運動プログラムは、保護者も一緒に取り組むことができるものとなっていますが、保護者へのアンケート結果から何か見えてきたものはありますか。
副会長	・保護者からの意見で多く見られたのは、子どもたちとどのように遊んだらいいのかよく分からない、親子で参加できるイベントを開催していただきたい、こども園活動の中で専門的な指導をしていただきたいなどの意見がありました。ただし、こども園の先生方に専門的な指導を求めるのは難しい部分もあるので、専門知識をもった指導者が定期的に各園を訪問し、先生方はその様子を見て学び、自分の指導に生かしていくことができれば、保護者の要望に少しずつ応えていくことができるのではないかと思います。保護者の皆さんは、まずは子どもと一緒に公園等に出かけて遊ぶことから始めていただければと思います。 私も過去に恵那市で0歳から3歳児の体操教室を行ったことがあります。年代別に指導方法を分けることで、それぞれに適した運動指導ができるのではないかと考えています。
会長	・最近では公園等の遊具もかなり減ってきており、遊ぶ場所や器具も減少している。ケガ等が多いこともあり撤去せざる終えない状況にもあると思うが、こういった場所を整備することも必要ではないかと感じている。
副会長	・エーナ健幸ポイントを有効に活用し、各こども園の先生方も日々の運動活動をポイント対象としたり、保護者が子どもと一緒に遊ぶことで家族ポイントを付与するなど、様々な方面からポイントを付与していくことは難しいのでしょうか。
事務局	・エーナ健幸ポイントは、様々な活動に対してポイントを付与することができ、

	次年度以降は健康診断等もポイント対象としています。基本的には自分で健康づくりの目標を定め、自己申告制でポイントを貯めていく制度となっています。
副会長	・健康は目に見えにくいものでもあるので、ポイント制度等を有効に活用し、「見える化」していくことも重要であると思われます。
会長	・健幸ステーションの設置についてはどのような状況にありますか。
事務局	・岐阜市では民間企業に業務を委託し、開館時間中は市民が自由に来場し、血圧、骨密度等を測定できるようになっていました。さらにステーションにはトレーナーが常駐しており健康指導を受けることもできます。また、ウォーキング用ボールのレンタルやイベント情報の発信も行っていました。恵那市でも同様の健幸ステーションを設置したいと考えていましたが、人口が密集している岐阜地域であるため利用者があるという側面を考えると、面積が広く人口が分散している恵那市において同様の健幸ステーションを設置することが良いのかという部分もあります。また、新しいステーションを設置することは財政的にも厳しい状況にあるため、現状では既存の各コミュニティセンターを運動・スポーツ拠点として考えていきます。ただし、地域やコミュニティセンターとの調整は、平成 29 年度で検討を進めたいと考えています。健幸ステーションでは、市内各地域で作成しているウォーキングマップや健康につながるイベント情報等を発信し、市民が居住地以外でも健康づくりに取り組むことができるきっかけづくりに役立つ場所として整備していきたいと考えています。
会長	・その他ご質問はありますか。特にないようですのでその他に移ります。事務局から何かありますか。
事務局	・平成 29 年度の恵那市スポーツ推進審議会のスケジュールをご説明いたします。基本的に年 2 回の開催を予定しております。第 1 回は 9 月前後を予定しており、行動計画進捗状況の中間報告を行います。この中で委員の皆様から次年度の事業についてご意見をいただき、予算が必要であると思われるご意見があれば事務局で予算を要求します。第 2 回の審議会は 3 月中旬を目途に行動計画の年間進捗状況報告及び次年度の事業計画及び予算について説明を行います。
会長	・今年度実施したワークショップは次年度も継続していくのか。
事務局	・平成 29 年度については、ワークショップの開催は予定しておりません。ただし、今年度それぞれの立場から集まっていたいただき、現状や課題を出し合って解決方法を見出し情報共有する取り組みを始めました。今後も同様に意見交換できる場を設け、参加される皆さんが地域活動において少しでも参考となる意見も出てくると考えられますので、体育連盟と連携して継続していきたいと考えています。
会長	・その他ありますでしょうか。特にないようですので、本日の審議会はこれで終了させていただきます。この審議会は今後も続いていきますので、市民の健康づくりを盛り上げて行きたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。